

作業効率と品質を高めてサービス向上。 刺しゅう技術を継承して強みを守る

同社は、学生服や企業向け制服のロゴマーク等の刺しゅうを専門に事業展開している。他にも、着物の半襟や帯揚げ等の和装小物、僧侶の袈裟の刺しゅうも手掛けており、対応範囲は多岐に及ぶ。

学生服としては、カッターシャツの他、ポロシャツ等のニット素材への刺しゅうも対応しており、きめ細かく丁寧な仕事で受注量を着実に伸ばしている。和装小物や僧侶の袈裟の刺しゅうは、主に京都から注文が入る。

- | | | | |
|----------|---|--------|-------|
| ● 所在地 | 鳥取県八頭郡若桜町若桜955 | ● 設立 | 1990年 |
| ● 電話/FAX | 0858-82-1234/0858-82-1233 | ● 資本金 | 非公開 |
| ● URL | http://em-nishimoto.com/ | ● 従業員数 | 3人 |
| ● 代表者 | 西本 誠 | | |



生産性向上

オリジナル刺しゅうサービスで顧客ニーズに応える

近年、サークル活動・イベント等でポロシャツやバッグを作るグループ・個人の顧客ニーズが増加傾向にある。同社は顧客ニーズの変化を捉えて刺しゅうデータ作成ソフトを導入。データ加工によるオリジナル刺しゅうにも対応可能となり、付加価値向上に取り組んでいる。きめ細かなデザイン修正、高精度の仕上げや個人顧客から持ち込まれたデザインの編集等、当該ソフトを最大限活用。また、オリジナル刺しゅうサービスの認知度を高めるため自社Webサイトを開設し、商品紹介等のPR活動にも注力している。



同社Webサイトのトップ画面

作業効率化と品質向上を両立させて生産体制を確立

高性能刺しゅう機導入で12色を使用しての作業が可能となり、作業時間が最大で3分の1程度短縮され効率化が進んだ。刺しゅうの速度・精度が増し、特に技術を要する和装小物の刺しゅうの仕上がり・品質が向上したのである。また、刺しゅうデータ作成ソフトを導入し、以前は外注していた取引先から送られるデータの編集を同社が対応することで迅速に微妙なデザイン修正や高密度の糸送りが可能となった。設備投資で作業効率化と品質向上を両立し、多様な顧客ニーズに応える生産体制を整備したのである。



タジマ工業社製の高性能刺しゅうマシン

強みである「裏駒」の技法を次の時代へ

同社の強みは、僧侶の袈裟の刺しゅうで用いている「裏駒」の技法である。「裏駒」は、技術や経験が必要なため対応できる企業は少ない。しかし、現在、同社で「裏駒」を使った刺しゅうに対応できるのは、2019年で70歳を迎える代表者のみとなっている。そこで、将来へ向けて強みを維持するため「裏駒」の技法をマニュアル化し、後継者への技術承継を順次進めている。後継者へ確実に技術を引き継ぎ、強みを長期にわたって維持することにより、顧客との取引維持と受注量の増大を図っている。



「裏駒」を使った袈裟の刺しゅう

ものづくり